

# 槍ヶ岳 (3180m) 山行

- 山行日 8月1日(水)、2日(木)、3日(金)
- 参加者 秋山美紀子(SL) 伊豆公身子 加賀山礼子 山本貴美子  
今井登惇 山崎近史 柴垣宏之(記録)
- アクセス 福知山5:00⇒若狭道綾部IC⇒北陸道⇒名神高速道⇒東海北陸道⇒飛騨清見⇒高山自動車道(無料)⇒平湯温泉(あかんだな駐車場)(11:10)シャトルバス11:20発⇒上高地(11:45)⇒(昼食)
- 登山コース **8月1日(曇り)** 上高地12:20⇒明神池(13:35)⇒徳沢ロッヂ(14:34)⇒横尾山荘(泊)(15:40)
- 8月2日(快晴)** 朝食(5:00)横尾山荘(5:25)⇒一の俣(6:30)⇒槍沢ロッヂ(7:13)⇒大曲(8:45)⇒坊主の岩小屋(12:08)⇒殺生ヒュッテ(13:00)⇒槍ヶ岳山荘(14:20)到着(泊)
- 8月3日(朝ガス)(快晴)** 朝食(5:00)⇒山荘((5:40)⇒槍沢キャンプ場(9:16)⇒槍沢山荘(10:00)⇒横尾山荘(13:20)⇒昼食⇒明神池(14:10)⇒上高地⇒あかんだな駐車場⇒高速道⇒福知山

日本百名山で標高3180m、日本アルプスを代表する山で、天高く鋭くそびえ、一度は登って見たいと憧れる、槍ヶ岳に挑戦するために、氷ノ山や赤赤トレイル等トレーニングを積んできました。

8月1日は台風が通過した後で、曇空ですが、オリックスレンタカーに7名が乗車して、一路、平湯温泉のあかんだな駐車場を目指す。

今回は秋山さんをリーダーにサブリーダーに私と会計さんに加賀山さん、最後を男性2名が歩くと役割を決め、安全登山をめざして、無事故で帰ってくる事を目標に出発しました。

あかんだな駐車場で登山の身支度をすませ、バス乗り場に行くと丁度発車するバスに間に合い、乗車、25分乗ると上高地に到着。

まずは腹ごしらえ、食事を済ませ今日の目的地の横尾山荘をめざして足を進める。上高地観光の代表格の河童橋が目に見える、多くの観光客が河童橋を渡り、また、近くで記念撮影等、楽しんでおられるが、河童橋を横目に梓川の上流に足を進める。道は高低差もあまりなく、明神池と、休憩をはさみながら徳沢へ。このあたりまで観光客、外国人にも良く出会う。

徳沢の分岐を左の槍ヶ岳を目指す。右は蝶ヶ岳と記してある。

道は少し狭くなり、山道らしくなってきた。

3時間20分程歩いたのでしょうか。横尾山荘が見えてきた。横尾山荘は綺麗な建物で沢山の登山者が宿泊されている。

部屋は7人が一部屋でメンバーだけの貸切でゆっくりできた。荷物も部屋に入りいい山小屋だ。

風呂も汗を流すだけだが、入浴する事ができる。5時より食堂で頂きビールも飲める。  
今日は山崎さんの〇〇歳の誕生日なので、誕生日祝いの品物を贈りお祝いをする。  
食事もご馳走で美味しく頂く。7時頃には就眠wwwww

2日も朝から良い天気だ。5時に朝食。5時半頃いよいよ槍ヶ岳を目指して出発。  
ここ横尾山荘の前より横尾大橋を渡れば穂高岳方面だ。私たちは右の道を槍ヶ岳方面へ。  
ここからは少しずつ登って行く。50分も歩くと、槍見河原があり、遠くに槍ヶ岳が見える。  
これから行く槍ヶ岳が見え感激だ。この登山道唯一の槍ヶ岳が見える所だ。  
一つ俣、二つ俣と越え、槍沢ロッチと少しずつ高度をとって行く。  
大曲を過ぎた辺りから少し急な登りになり、水場は多くの登山者の休憩の場であり、美味しい水が飲める所だ。

坊主の岩小屋(播隆窟・槍ヶ岳初登はん、開山をなしとげた念仏行者播隆が利用した岩屋)  
20~30分程登って行くと、槍ヶ岳、殺生ヒュッテ、山の上には、ヒュッテ大槍が見えてきた。  
槍ヶ岳の左には今日お世話になる、槍ヶ岳山荘も見えている。もう少しだが、結構急なのぼりの山道だ。

一歩一歩、歩みを進め、槍ヶ岳山荘へ。 ガンバレ~ 12時20分到着。  
槍ヶ岳山荘に到着すると、「達成感で一杯だ。」と手を合わせ合う行動も。

【えっー 目標は槍の穂先だよ~】

今日はここで目標達成の雰囲気? (私一人で登ってくるよ) (チームを乱す行為はダメ)  
こんなやりとりも……

槍の穂先は時々ガスがかかり、5時頃迄登るチャンスはあったと思う。(目の前に生ビールがあり飲めないような思いだ。) 涙…

槍の穂先の登頂は朝4時半から登り、朝食を6時から頂く予定で計画を変更することになる。

槍ヶ岳山荘は多くの登山者で一杯だ。外国人の登山者が多いようだ。

一部屋が上下2段左右にわかれ、下の段が私たちの宿泊できる場所だ。5時より食事を大食堂でいただく。

7時頃床につきぐっすり眠れ、夜2度目が覚めて、11時には、ガスで槍の穂先は見えない。2時頃は月や星空も見え、槍の穂先も綺麗に見える。朝の登頂に期待して、眠りにつく。

朝3時半頃目が覚め外を見るとガスで何も見えない。晴れるのを期待したが、すぐには晴れそうにない。予定を変更、5時に朝食を頂き、下山する事にする。

朝食後、5時40分山荘前で見ると、槍の穂先はガスで何も見えない。残念だが涙を呑んで下山を開始。下山は早いけど距離が長い。

途中殺生ヒュッテ、坊主の岩小屋、水場と順調に下山できたが、槍沢ロッチ頃には、ペースダウン。このペースでは、帰る時間が不安になり、横尾山荘で昼食をすませてから、申し訳なかったですが、私が先頭でペースアップをして、上高地に3時前に到着。

3時の臨時バスに乗車。あかんだな駐車場に3時半に着く、時間が遅くなり、温泉入浴も取りやめて福知山帰って来る。全員無事安全に帰って来る事が出来ました。

私の反省と感想を書きますと、私の計画書では、このメンバーには無理があったと反省して

おります。申し訳ありませんでした。

時間ではなく、もう一泊すれば槍の穂先まで登頂できたのではないかと、思っています。殺生ヒュッテに泊り、槍の穂先に登頂。翌日徳沢ロッヂ(泊)して、下山すれば楽に登山ができるのではないかと？

槍ヶ岳山荘から見た槍の穂先

